

令和6年 11月15日(金)

あさひの日だまり

NO.24

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～マラソン頑張りました～

保護者の皆様応援ありがとうございました



マラソン大会が近づいてくると、毎年のことですが、何人かの子どもたちがこんなことを話しかけてきます。「マラソン大会の日雨降らないかな!」「マラソン大会なんて何であるの?」「ねえどうして先生たちはマラソンしないでいいの?」そういう子どもたちへの返事には私も困ります。「頑張れよ!」というのは簡単ですが、「頑張れ」と言われて頑張れるならそんな不平や不満は言いません。頑張らなきゃということはじゅうじゅうわかっているのです。それでも長い距離を走るのは苦手なのだからついつい不平不満を言いたくなるので

す。仕方がありません。責められません。苦手なことの多かった私には気持ちがよくわかります。そういう子たちに何と声をかけてあげたらよいものか。「そうか〜」「走るの苦手なんだよな」「先生応援してるからな」そんな言葉を返します。そんな言葉で勇気づけられるわけなどないといながらそういう言葉以外に見つかりません。

じゃあいったい何のためにマラソン大会があるのでしょうか。明快な答えが見つかりません。「マラソンは嫌だというのはよくわかったよ、でも、君の良さが発揮できるチャンスがこの先必ずあるから」という答えが精いっぱいです。

そんな子どもたちが私の目の前で今スタートラインに立っています。もう間もなくスタートです。子どもたちの表情が緊張感に満ちています。「頑張るんだぞ!」そう声をかけます。もう不平不満を言う子は一人もいません。みんなかならず「ハイ」と答えます。覚悟を決めたんです。健気な子どもたちの姿です。「立派だ!」と思います。でも、マラソンですから結果が必ずついてきます。順位が付きます。自分の力を目の前に突きつけられます。

一桁の順位だからいいじゃん。と思うと、実はそれがそうでもないのです。去年の順位が目標だったり、ライバルに勝つことが目標だったりするのです。そうそう目標は実現しません。涙を流して悔しがる子もいます。

「自分なりに頑張る姿が素敵なんだ」とよく言います。確かにそう思うのです。そして、そういう心持を私たち大人が本気で持てることが肝要です。そういう心持で子どもたちの前に立つことが何より大切なのだと思います。

～校歌についてお話を聞きました～

先人の願いのふれました

地域の大先輩である樋口の宮澤様をお迎えして校歌に込められた願いについてのお話を聞きました。4年生の道徳には、「自校の校歌について勉強しよう」という単元があります。その授業の中で、子どもたちが辰野東小学校の校歌にはどんな願いが込められているのだろうかということに疑問を持ちました。そして「校長先生教えてください」と校長室へ尋ねてきました。

「校長先生ちょっとわからないな〜」「そのことについて知っている方がいないかどうか探してみるね」と返事をしました。いつもお世話になっている樋口の宮澤様にいきさつをお話しして相談をしました。そして「私でよければ」と言おうお返事をいただけたのです。当日は当時のスライドを使ってお話をして下さいました。私は出張で退室してしまいましたが、教頭先生から「大変分かりやすいお話しでなるほどそうだったのかと勉強になりました」と後からお聞きしました。「ぜひ内容を教えてください」と伝えてあります。興味津々です。宮澤様から「少し難しい話でしたが子どもたちも真剣に聞き入ってくれました」とお話をいただきました。宮澤様本当にありがとうございました。子どもたちにまた一つ宝物ができました。心から感謝申し上げます。

2024年11月15日

辰野東小学校保護者の皆様へ

令和6年度辰野東小学校PTA会長 林 まどか

保健厚生部長 降旗 美和子

辰野東小学校長 片桐 広文

アルミ缶回収について（お願い）

いつもアルミ缶回収活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

7月からコスト面・回収頻度などを考がえて業者を変更しています。皆様のご協力のおかげで現在まで下記の金額を集めることができました。

令和6年4月～6月 回収金額 8,580 円（2,860 円/月）

令和6年7月～10月 回収金額 13,419 円（3,354 円/月）

時期の関係もあるとは思いますが、月当たり回収金額が17%アップしました。

集まった資金は学校活動や環境整備に役立てる予定です。引き続き、通年アルミ缶回収を実施していきます。

今後とも協力お願いいたします。

記

回収場所：児童玄関と中校舎をつなぐ外通路

業者変更によりアルミ缶回収の入れ物がかわりました。

休日にいれていただくことも歓迎です。

